

# 解体性接着技術を用いた SFRC舗装撤去工法

## 最高水準の道路守りへ



阪神高速技術株式会社

〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル  
TEL:06-6110-7200(代表)

<https://www.hex-eng.co.jp/>



鹿島道路株式会社

〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27  
TEL:03-5802-8001 FAX:03-5802-8017

<https://www.kajimaroad.co.jp/>

NIPPO 株式会社NIPPO

〒540-0036 大阪市中央区船越町2-4-12  
TEL:06-6942-6125

[www.nippo-c.co.jp/](http://www.nippo-c.co.jp/)



ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区箱崎超7-8  
TEL:03-6861-8101 FAX:03-6861-8151

<https://www.sho-bond.co.jp/>

FUTAMI 株式会社フタミ

〒547-0026 大阪市平野区喜連西4-7-36  
TEL:06-6703-7371 FAX:06-6703-5557

<https://www.sb-futami-aj.co.jp/>

HANTA 範多機械株式会社 営業技術グループ

〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島2-14-21  
TEL:06-6472-1677

URL : <http://www.hantak.co.jp/>

■解体性接着技術を用いたSFRC舗装撤去技術は下記特許取得技術です

- ・鋼床版及び鋼床版のコンクリート層の撤去方法(特許第5946948号)
- ・鋼床版にコンクリートを被覆する方法(特許第6824331号)
- ・熱剥離可能なエポキシ樹脂系プライマー(特許第6629479号)
- ・鋼繊維補強コンクリートの切断方法(特許第6563099号)
- ・SFRC舗装撤去方法(特許第6878652号)

2022.11



解体性接着技術を利用し、  
SFRC舗装を  
きれいに引きはがす！

# 特長

解体性接着技術を用いた

## SFRC舗装撤去工法

(特許第5946948号)(特許第6629479号)(特許第6824331号)

# 強固に接合されているSFRC舗装でも、鋼床版を傷つけることなく低騒音で舗装を撤去する工法

近年、鋼床版の疲労き裂対策として、鋼床版上の基層舗装をグースアスファルトからSFRC舗装に置き換える機会が増えています。将来、SFRC舗装区間で鋼床版デッキ貫通き裂が発見された場合、SFRC舗装を部分的に撤去し、鋼床版上面からの当て板補修が想定されますが、鋼床版とSFRC舗装は強固に接合されているため、SFRC舗装の撤去はとて困難です。

解体性接着技術を用いた「SFRC舗装撤去工法」は、接着材としての機能を維持しながら、一定温度以上鋼床版を加熱することでSFRC舗装を簡単にはがせる接着技術です。

### これまでの課題

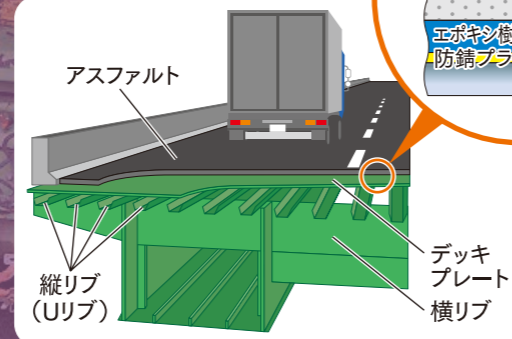
- 強固に接合されているSFRC舗装を撤去するには、バックホウや大型搭乗式スクレーパなどを用いて削ってはがすしかなく、鋼床版を傷つけ、大きな音や振動が発生する上に、手間がかかる。

### ▶ 解体性接着技術を用いた「SFRC舗装撤去技術」の特長

- ❗ **構造物に負荷のかからない工法** → “けずりとる”ではなく、“引き上げる”真空輸送技術で鋼床版を傷つけずにはく離可能!
- ❗ **低騒音でSFRC舗装を撤去可能** → 重機で削ってはがす必要がないため、静音で施工できる!
- ❗ **容易に解体が可能** → 特殊な資格も必要なく、手順が簡単なので誰でも施工できる!



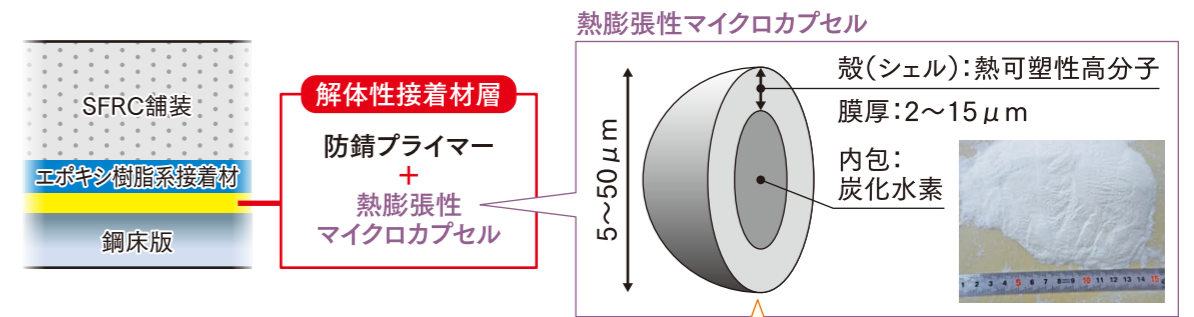
< 高速道路の構造 >



# 施工

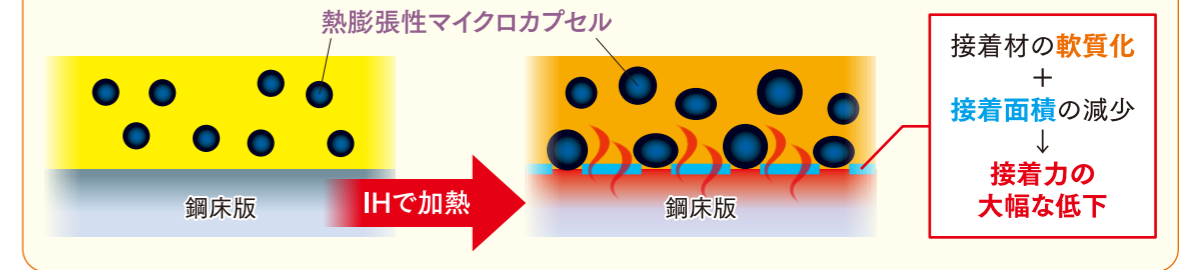
## 解体性接着技術を利用して、容易に撤去できる

鋼床版の疲労き裂を防ぐためには鋼床版とSFRC舗装との一体化が重要であり、両者は接着材で強固に接合されています(実測値3N/mm<sup>2</sup>)。撤去時には、熱を加えることで、接合部の接着力を低下させ、簡単にはがすことができます。



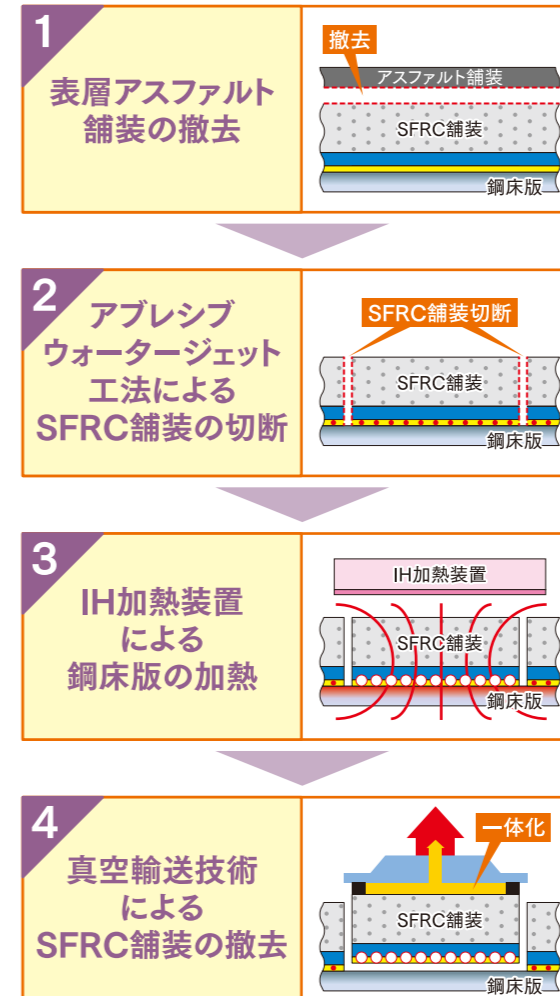
### 解体性接着材の仕組み

熱膨張性マイクロカプセルが熱で膨張することで鋼床版との間に隙間ができ、容易にはがすことができます。



## 鋼床版を傷つけることなく、低騒音でSFRC舗装を撤去できる

### < 撤去の流れ >



### < アブレシブウォータージェット工法 >



### < IH加熱装置による鋼床版の加熱 >



### < 真空輸送技術 >

